月 2019 年

東京都福祉サービス評価推進機構 公益財団法人 東京都福祉保健財団理事長 殿

〒 170-0004

所在地 東京都豊島区北大塚2-24-5 ステーションフロントタワ-2F

株式会社 地域計画連合 評価機関名

活光如见重宝

認証評価機関番号

- 002 機構 02

電話番号 03-5974-2021

代表者氏名 江田 隆三

以下のとおり評価を行いましたので報告します。



日

			評值	<b>西</b> 者氏	名			担当分野	修了者番号
Disposed Co. Co.	1	木暮	美息	三				経営	H0702083
	2	石澤	陽身	ŧ				福祉	H0306066
評価者氏名・担当分野・評							福祉	H1401058	
価者養成講習修了者番号 -		4							
	(5)			ri i		dla.			Add allowed
	6								
福祉サービス種別	認可	可保育	所						
評価対象事業所名称	西米	花谷し	ろは。	と保育	袁				
<b>州世間正常</b> 集		₹	144	-0034	ļ				
事業所連絡先	所	在地	大田区西糀谷1-4-22			-22			
8		TEL	03-3	3745-	-516	35			
事業所代表者氏名	岳月	€ 幹-	子						
契約日		2018	年	7	月	10	日		
利用者調査票配付日(実施日)		2018	年	9	月	7	日		
利用者調査結果報告日	7-	2018	年	11	月	5	日		
自己評価の調査票配付日		2018	年	9	月	7	日		
自己評価結果報告日		2018	年	11	月	.5	日		
訪問調査日		2018	年	.11	月	12	日		1
評価合議日		2018		11		12			
コメント (利用者調査・事業評価の 工夫点、補助者・専門家等 の活用、第三者性確保の ための措置などを記入)	わかった確事ため	いりやす がないる ではしいる がないでいる がないでした。 かいとかいい。 かいいい。 かいいい。 かいいい。 かいいい。 かいいい。 かいいい。 かいいい。 かいいい。 でいいい。 でいいい。 でいいい。 でいいい。 でいいい。 でいいい。 でいいい。 でいいい。 でいいい。 でいいい。 でいいいい。 でいいい。 でいいい。 でいいい。 でいいい。 でいいい。 でいいいい。 でいい。 でいい。 でいいの、 でいいの、 でいいの、 でいいの、 でいいの、 でいいの。 でいいの。 でいいの。 でいいの。 でいいの。 でいいの。 でいいの。 でいいの。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる	い独ったは。資行った	自資のは、訪れたうえ	料ポー問で点を	用意し、 イントを、 調査の活 方問調を を置いて	、事意 概を実	業者の負担を軽減 し、効果的、効率的 3週間前までに評	、確認根拠資料の準備について、 就する工夫を行っている。 的に情報が整理できるよう工夫を 価機関への提出を依頼し、根拠の 事業所の課題や良い点を把握する 実施している。

評価機関から上記及び別紙の評価結果を含む評価結果報告書を受け取りました。 本報告書の内容のうち、 ✓ ⑥ 機構が定める部分を公表することに同意します。

- 別添の理由書により、一部について、公表に同意しません。
- ○別添の理由書により、公表には同意しません。

2019年 3月//日

事業者代表者氏名

園長岳尾幹平

## 福祉サービス第三者評価結果報告書(平成30年度)

2019 年 2 月 日

東京都福祉サービス評価推進機構 公益財団法人 東京都福祉保健財団理事長 殿

〒 170−0004

所在地 東京都豊島区北大塚2-24-5 ステーションフロントタワ-2F

評価機関名 株式会社 地域計画連合

認証評価機関番号

機構 02 - 002

電話番号 03-5974-2021 代表者氏名 江田 隆三

印

以下のとおり評価を行いましたので報告します。

		評価者氏	:名		担当分野	修了者番号
	① 木暮		<u> </u>		経営	H0702083
	② 石澤	陽美			福祉	H0306066
評価者氏名•担当分野•評	③ 熊谷	純子			福祉	H1401058
価者養成講習修了者番号	4					
	<b>⑤</b>					
	6					
福祉サービス種別	認可保育	所				
評価対象事業所名称	西糀谷し	ろはと保育	園			
	₹	144-0034				
事業所連絡先	所在地	大田区西	糀谷1-	4-22		
	Tel	03-3745-	5165			
事業所代表者氏名	岳尾幹·	子				
契約日	2018	年 7	月 1	0 日		
利用者調査票配付日(実施日)	2018	年 7	月 2	3 日		
利用者調査結果報告日	2018	年 11	月	5 日		
自己評価の調査票配付日	2018	年 7	月 2	3 日		
自己評価結果報告日	2018	年 11	月	5 日		
訪問調査日	2018	年 11	月 1	2 日		
評価合議日	2018			2 日		
コメント (利用者調査・事業評価の 工夫点、補助者・専門家等 の活用、第三者性確保の ための措置などを記入)	わかりやす・分析シー行っている・確認根拠事前確認なためのヒア	トい独自資料 トは記入の ら。 見資料は、訪を行ったうえ フリングに重	料を用意ポイント ボイント i問調査( で訪問) 点を置し	し、事 を	業者の負担を軽 し、効果的、効率 13週間前までに記	準、確認根拠資料の準備について、減する工夫を行っている。 減する工夫を行っている。 堅的に情報が整理できるよう工夫を 平価機関への提出を依頼し、根拠の 事業所の課題や良い点を把握する に実施している。

評価機関から上記及び別紙の評価結果を含む評価結果報告書を受け取りました
本報告書の内容のうち、( 機構が定める部分を公表することに同意します。

- 別添の理由書により、一部について、公表に同意しません。
- 別添の理由書により、公表には同意しません。

年 月 日

事業者代表者氏名

印

《事業所名:西糀谷しろはと保育園》

1	理念・方針 (関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定)
_	
	事業者が大切にしている考え(事業者の理念・ビジョン・使命など)のうち、
	特に重要なもの(上位5つ程度)を簡潔に記述 (関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定)
	1)子どもの個性・人格を尊重し自立を促す 2)日々の生活の中で家族とともに、その成長発達の援助を行う
	3)地域社会に開かれた施設として、積極的に貢献する
	4)仲間づくりと体づくりを大切に「生きる力」を育てる
	5)差別意識のない環境づくり
2	期待する職員像 (関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上)
	(1)職員に求めている人材像や役割
	職員一人一人が組織の人間として協力し合い、子どもの保育にあたる
	仕事のやりがいを見つけ、資質の向上に努め積極的に研修に参加する
	(2)職員に期待すること(職員に持って欲しい使命感)
	子どもの最善の利益を考え、子どもの命と権利を守りながら利用者に寄り添う丁寧な日常保育を行う

〔利用者調査:認可保育所〕 平成30年度

《事業所名:西糀谷しろはと保育園》

平成30年9月1日現在の施設の利用者(保護者) 102世帯(利用者総数 126名)を対象とした。ただし、長期欠席のため1世帯は協力依頼ができなかった。

調査対象

アンケート(自記式)。施設にて担任が保護者に手渡しする形で調査票を配付。記入された調査票は封緘のうえ返信用封筒による郵送または施設に設置した回収箱による回収。

調査方法

## 利用者調査全体のコメント

・総合的な満足度としては、「大変満足」が 36%、「満足」が 54%となっており、満足と答えた人が 90%をとなっている。

- ●設問の中で「はい」の比率が高かった上位は、次の項目であった。
- 問1. 園での活動は、お子さんの心身の発達に役立っていると思いますか
- 問2. 園での活動は、お子さんが興味や関心を持って行えるものになっていると思いますか
- 問3. 園で提供される食事・おやつは、お子さんの状態に配慮し、工夫されたものになっていると思いますか (各々 93%、62人)

問4. 戸外遊びや行事などにより、お子さんが自然や社会と関わる機会は十分確保されていると思いますか (84%、56人)

### 利用者調査結果

意見があった。

共通評価項目	実数						
コメント	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当			
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	62	4	0	1			
言葉数が日に日に増えている、プールや公園遊びなど身体を動かす遊びも多くきたえられて 交わり方を通して年齢とともに発達していると思う、体育遊びや週目標は発達に沿ったもので役に立っていることもあるのが疑問なこともある、友だちとのトラブルの際は本人がどう感ほしい、などの意見があった。	となってい	てわかりや	すい、心身	発達の上			
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	62	4	0	1			
英語や体育遊びなど外部からの先生のおかげで楽しそうに過ごしている、体育あそび・造形・英語など園の様子を楽しく話してくれる、家で今までやったことがないことができるのは園のおかげ、などの意見があった。							
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	62	3	1	1			
前にアレルギーがあったが丁寧な対応をしてくれた、離乳食の内容や量がとても参考になっ	った、普通2	週間サイク	ルの献立	が多い保			

育園だが1カ月まるまるちがうメニューを提供してくれる、お米メニューが多く米離れしている現代にはとても良いと思う、おたよりでも 私たち親が勉強させられることが多い、給食の魚の提供が少ないと思う、お魚料理が多く家では肉が多めなのでありがたい、などの

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	56	9	1	1
低年齢児は園庭で遊ぶことはあるが戸外遊びや散歩に出る機会が少ない、という意見が複の交流行事など十分に対応している、一般の人も招いての行事はとても良い、野菜を育てるなどで太陽や風・音などを感じている、室内遊びが多いように感じる、もっと戸外遊びや行事がないので難しい、などの意見があった。	る・収穫する	るなどしてい	いる、年少児	はテラス
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	43	15	6	3
とても柔軟に対応してくれる、嫌な顔をせず受けていただき助かっている、平日延長は6時くは仕事でも頼みにくさはある、一部の職員は柔軟性がなく何か言うと園長に直接相談するよ残業ということがあるが保育園の先生の確保・子どもへの負担という観点から急な利用時間の人員やシフトの都合があるのも分かるが柔軟に気持ちよく対応してもらえているという感じ	kうにと言れ 引の変更は	oれる、仕事 しないよ <b>う</b> 記	事上当日の? 説明され困?	タ方急に った、園側
6. 安全対策が十分取られていると思うか	54	11	2	0
門のロックを新しくつけ二重ロックになったので安心できる、という意見が複数あった。親からで共有し対応している様子がおたよりなどで伝ってくる、木が沢山使われている室内だが転子どものケガに気がつかないことがある、などの意見があった。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	53	13	0	1
保護者会・運動会などメインの行事等が土曜日の日程で有難い、という意見が多数あった。整してもらい助かる、個人面談が平日の午前・午後のみだと仕事を休む必要がある、土曜日ない時もある、などの意見があった。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	47	15	5	0
保護者面談が年2回あるのでゆっくり相談でき安心している、先生が一人ひとりじっくりとそでも話しやすく相談しやすい、いつもプラスな事を教えてくれ嬉しい反面うちの子の困った姿も方は他の子どもを見ながら今日の様子を話してくれるので相談などできる雰囲気ではない、談事を伝える機会がない、仕事をしているので相談したくてもなかなか時間がとれず先生もくい、などの意見があった。	教えてほし 3歳児クラ	い時もある ス以上は遠	、お迎え時 連絡帳も無し	には先生 いので相
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	54	12	1	0
よく清掃している先生の姿を見かける、という意見が複数あった。とてもいき届いていると思トイレのニオイが気になる、玄関に砂が散らかっている事が気になる、下駄箱やすのこがたる、教室の中が砂などでジャリジャリしていることがあるので水ぶきするなど清潔を保ってほ意見があった。	まに汚い時	<b>∮がある、教</b>	女室も砂っほ	よい 時があ
10. 職員の接遇・態度は適切か	54	12	1	0
とても親と担任が近い存在でいる感じがする、ポロシャツがかわいい、ユニフォームは良いとい先生がいる、職員は挨拶等不足な点が見られる、一部の職員が上履きをつぶしてはいててほしい、などの意見があった。				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	53	12	1	1
看護師がきちんと対応してくれる、看護師がいる安心感や子どもが「〇〇してほしい」に対し ケガの事まで報告してくれるのでありがたい、平熱が高めの子には様子をみて更に上がる。	て柔軟に対	対応している 動数というス	ると思う、と なイルは É	ても小さな
う、迎えに行くまでは預かっていてくれる、発熱の子を事務室で預かっているときと教室で預した際にどのような状況であったのかが不明確なところがあるように思う、などの意見があっ	かっている	ときの対応	の差は何だ	か、怪我を
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	41	19	1	6
きちんと1から説明されている、私たち(保護者)にも説明してくれる、子どもへの対応は見た明してくれる、先生方の見えない所で子ども同士のもめ合いやケガ・アザをつける事があるする事が大切、どのような対応をしているか知らない、などの意見があった。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	54	13	0	0
子どもの個性をよく分かっていると思う、ちゃんと耳をかたむけているからこそ不満なく子どでいる、一生懸命接して下さっているように見える方もいればそうでないように見える方もい				L を理解し
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	51	13	1	2
プライバシーを意識しすぎてクラスの名簿もないので友達の名前などもわからないのは残怠実施されるためプライバシーに関わることは話せできない、聞かれたくない家庭のことを子さた、2歳児クラス以下は連絡帳があるので聞かれたくない事などは連絡帳で伝えられるが3先生が特に気を配っているため職員もきちんとしている、名前のついた体操着を着たままのた。	ごもから聞い 歳児クラス	いて職員が 以上は伝え	知っていた える術がない	ことがあっ い、園長
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	51	16	0	0
保護者会やクラスたよりで保育内容は伝わっている、毎日日記のようなボードを書いて下さ方が上手でいつも楽しみに読んでいる、日々の活動を写真などで毎日掲示してくれるとさらため、「今日も変わりなしです」のみの時が多くもう一声欲しい、クラス担任が体調不良等で入ったりしても何の説明や報告もないときがある、などの意見があった。	に良い、幼	児クラスは	朝夕で1ク	ラスになる
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	40	15	4	8
耳を傾け聞いた上でどうしていくかも伝えてくれる、保護者会後に質問時間が足りずアンケーしたものの返事が返ってこなかったことがある、「一旦相談してみます」と言われてそのままの答えの対応で園長先生の意見しかきけない、子どもの生活習慣に関すること(食事、トイは対応してもらえない、などの意見があった。	にされたこ	とがある、園	園長に相談	してから
17. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか	27	18	10	12
入園時の説明であったと思う、こういった調査も実施しているのでとても信頼できる園だなと はきびしい、壁にプリントは貼ってあるが口頭の説明はない、一時期とても困って悩んでいる た、職員以外の役所や第三者などの話は一切なかった、役所の方々は頼りにならない、た	ることがあり	相談したか	「対応してく	れなかっ

〔組織マネジメント:認可保育所〕 平成30年度

《事業所名:西糀谷しろはと保育園》

## I 組織マネジメント項目(カテゴリー1~5、7)

No.		共通評価項目						
		カテゴリー1						
1	リーダーシップと意	意思决定						
	サブカテゴリー1(1−1)							
	事業所が目指して	アンガナーナー・バー・/ ていることの実現に向けて一丸となっている <b>サブカテゴリー毎の</b>						
		標準項目実施状況	7/7					
	評価項目1							
	事業所か日指して ている	ていること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知し <b>評点(〇〇)</b>						
1	評価	標準項目   ↑. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組						
	● あり ○ なし	みた行っている	○ 非該当					
1	)	  2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深	<u> </u>					
		ナフ レニナ・ロッパ・クロッチ ケー・ブリップ	○ 非該当					
	評価項目2		O 21 22 1					
	経営層(運営管理	里者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表						
	明し、事業所をリー	ードしている <b>評点(OO)</b>						
	評価	標準項目						
		1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を贈品に与えている。	- 5					
	( a)		○ 非該当					
		2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責						
	● あり ○ なし	任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している	○ 非該当					
	評価項目3		·					
	重要な案件につい	いて、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて )内容を関係者に周知している <b>評点(〇〇〇</b> )						
	評価	標準項目 1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている						
1	あり ○ なし	The appropriate of the state of	○ 非該当					
}	0	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	0 // 2/-					
Ì	● あり ○ なし	Provided State Control and Con	○非該当					
- }	)	  3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えて	O 91 HA					
		1)7	○ 非該当					
$\dashv$	₩ w y		O SLEW-					
		カテゴリー1の講評						
		. ガイドブックや各種計画書等に記載して職員・保護者に周知している	= <b>.</b> .,					
	理念・基本方針は	t、園のガイドブック、ホームページに記載すると共に園の玄関や各クラスに掲示している。職員は個別ファイ れた資料を綴じ込み、職員会議等には各自携帯して意識できる仕組みがある。事業計画、事業報告、全体的	ルに理念や					
	記載し、職員会議	養で説明して共通理解に努めている。保護者には園のガイドブックを基にオリエンテーションで説明し、更に年						
	ろはとだより」に掲 '	<b>曷載して伝えている。その後も個人面談や保護者会で繰り返し園の方針を伝えて理解を促している。</b>						
	国       ナス ジ ± , (	の生きる力を育むための園運営にリーダーシップを発揮している						
		の生さる刀を再むための園連呂にリーダーシックを光揮している の組織図を明記し、園長は、理事会報告や園長会報告などを行いながら方向性を示している。第三者評価や	시테田孝調杏					
	の機会を捉え、園	園の役割や業務マニュアルを確認し、園長の役割を伝えている。また、区の方向性や法人の方向性を伝え、園	園としてどのよ					
	うな取り組みが必	な要かを伝えている。園長は、地域社会や自然の中で子どもの生きる力を育むことが大事と考え、地域への子、 障害を持つ子どもの受け入れ、東京の木を利用した内装木質化による園内環境整備、木育活動など、園運	<u>-</u> 育て支援や - ヴェリーダー					
	高断者との交流、 シップを発揮してい		呂にソージー					
	園で決定する?	事項は、職員・法人本部の意見を参考に園長が決定している						
		内容に関しては法人の理事会で方向性を決定している。園で決定する事項は、職員の意見を聞きながら法人	人本部に相談					
	して園長が決定し	している。決定事項は、経緯も含めて職員会議等で職員に周知している。保育内容や延長保育料の改定など	は、保護者					
		含めて説明し、文書を配付する等繰り返し説明して周知に努めている。組織としての意思決定の仕組みをフロ アル等に収録することを期待する。	1ーナヤート					

		カテゴリー2		
2	事業所を取り巻く	環境の把握・活用及び計画の策定と実行		
		サブカテゴリー1(2-1)		
	事業所を取り巻く ている	環境について情報を把握・検討し、課題を抽出し サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	6/6	
	<u>評価項目1</u>	抹十 <b>次</b> 自天池 <b>认</b> 儿		
	事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出し ている <b>評点(〇〇〇〇〇</b> )			
	評価	標準項目		
	<ul><li>あり ○ なし</li></ul>	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当	
	<ul><li>あり ○ なし</li></ul>	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	○ 非該当	
ı	0 11 0 1	  3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している		
	<b>●</b> あり ○ なし	The second secon	〇 非該当	
	● あり ○ なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	〇 非該当	
	<b>●</b> あり ○なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	○非該当	
	<ul><li>あり ○ なし</li></ul>	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	○非該当	
		<u></u>		
	実践的な計画策算	定に取り組んでいる サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	5/5	
	評価項目1 事業所が目指して	ていること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現		
	に向けた中・長期	計画及び単年度計画を策定している <b>評点(〇〇〇</b> )		
ı	評価	標準項目		
	● あり ○ なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画 を策定している	〇 非該当	
	● あり ○ なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	○非該当	
	<ul><li>あり ○ なし</li></ul>	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	○非該当	
	評価項目2		2.0	
		行に取り組んでいる <b>評点(〇〇)</b>		
	評価	標準項目		
	● あり ○ なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	〇 非該当	
ı		  2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んで		

#### カテゴリー2の講評

## 保護者・職員・地域等の意向を把握し、福祉業界の動向等も収集している

保護者参加の行事後にアンケートをとって利用者の意向を日常の保育に反映している。職員の意向は、自己評価や個人面談、職員会議などで把握している。地域の福祉ニーズは、園見学の保護者や地域事業「よちよちタイム」の参加者にアンケートをとって把握している。その他、園長会や区の説明、法人本部の報告、保育関係団体などから福祉業界の動向を把握している。園の財務状況については法人理事会で報告を受け、職員にも回覧している。保育園ニーズから企業型保育所を検討しているが、人材確保の難しさや場所の選定の難しさから停滞している。

# 地域・人材・保育・危機管理等の現状分析により課題を明確にし、計画を策定している

地域や人材・保育内容・危機管理の現状と課題を明確にし、予算等を踏まえ5カ年の中長期計画を立てている。更に年度毎に現状分析を深めて実行計画に落とし込み、単年度事業計画を策定している。事業計画には、地域に根付いた保育の充実と地域支援を掲げ、木育活動の継続・保育士定着のための企業事業(主導)型保育所の計画、保育指針改定に伴う全体的な計画に基づき保育内容を充実させ職員の質の向上を図ることが示されている。園運営に影響する工事等については事前に見積もりを取り、本部に了解を得て事業計画(予算書)に反映させている。

#### 職務分担表を明確にし、職員会議の年間計画を立てて事業計画を実行している

事業計画に基づき、職務分担表を明確にし、職員会議の年間計画、行事計画を立てて園運営に取り組んでいる。保育については、事業計画の下、保育指針の改定に伴い園の全体的な計画を策定し、それに基づいて年間指導計画、月案、週案を立てて取り組んでいる。保育に関しては、年間指導計画を4期に分け、期毎に反省・評価・考察を行いながら計画を実行し、次の計画に反映している。行事等については、ねらいと詳細な計画を立てて進め、保護者や職員の意見を聴取して振り返り、達成度合いを測っている。

		り、達成度合いを測っている。					
	カテゴリー3						
経営における社会	会的責任						
サブカテゴリー1(3-1)							
社会人・福祉サー 達成に取り組ん <sup>-</sup>	-ビス事業者として守るべきことを明確にし、その ごいる	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	2/2				
	-ビスに従事する者として守るべき法・規範・倫理 守されるよう取り組んでいる	評点(〇〇)					
評価	標準						
● あり ○ なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として む)などを周知し、理解が深まるように取り組んでいる	て守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含	○非該当				
● あり ○ なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含めに確認している。	含む)などが遵守されるように取り組み、定期	〇 非該当				
サブカテゴリー2(3-2)							
利用者の権利擁	護のために、組織的な取り組みを行っている	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	4/4				
評価項目1 利用者の意向(類対応する体制を	意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に 整えている	評点(〇〇)					
評価	標準						
評価 ● あり ○ なし	標準 1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を る		○非該当				
	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を	遠慮なく利用できることを、利用者に伝えてい	2				
<ul><li>あり () なし</li><li>あり () なし</li><li>評価項目2</li></ul>	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先をる	遠慮なく利用できることを、利用者に伝えてい	○ 非該当				
<ul><li>あり ○ なし</li><li>あり ○ なし</li><li>評価項目2</li><li>虐待に対し組織</li></ul>	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を る 2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やか 内な防止対策と対応をしている	遠慮なく利用できることを、利用者に伝えてい いに対応する仕組みがある 評点(OO)	○ 非該当				
<ul><li>あり () なし</li><li>あり () なし</li><li>評価項目2</li></ul>	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を る 2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やか	遠慮なく利用できることを、利用者に伝えてい いに対応する仕組みがある 評点(OO)	○ 非該当				

	サブカテゴリー3(3-3)	
地域の福祉に役立	立つ取り組みを行っている サ <b>ブカテゴリー毎の</b> 標準項目実施状況	5/5
評価項目1 透明性を高め、地	は域との関係づくりに向けて取り組んでいる <b>評点(〇〇)</b>	
評価	標準項目	
<ul><li>● あり ○ なし</li></ul>	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	○非該当
● あり ○ なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	○ 非該当
評価項目2 地域の福祉ニース	でにもとづき、地域貢献の取り組みをしている <b>評点(〇〇〇</b> )	
評価	標準項目	
<ul><li>● あり ○ なし</li></ul>	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	〇 非該当
<b>●</b> あり ○ なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している	〇 非該当
● あり ○ なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	○ 非該当

# 園の倫理規程に守秘義務・人権尊重等を記載して共通認識を持って保育に取り組んでいる

園の倫理規程に守秘義務や人権の尊重等を記載して園としての共通認識を持っている。保育園業務マニュアルに人権、虐待の項目を設けて記載し、年度初めに読み合わせを行うと共に各クラスに設置していつでも確認できるようにしている。虐待防止に関しては、虐待マニュアルやCAPのプログラム等を園内研修で取り上げて学び、園独自の「虐待の早期発見チェックリスト」を用意して定期的に確認している。 子どもの権利条約やCAP等の人権関連資料は各クラスに常備して職員の閲読を勧め、子ども一人ひとりを尊重してほしいと伝えている。

# 苦情解決の仕組みをガイドブック等に記載して説明しているが更なる周知が望まれる

苦情解決の仕組みをガイドブックを基に入園時オリエンテーションで説明し、掲示して知らせている。苦情等には、苦情対応マニュアルに基づき保護者の意見は職員で共有し、速やかに回答しているが、利用者調査によれば周知度は低く、更なる工夫が望まれる。また、園では障害を持つ子どもの受け入れも行っており、将来、健常者の中で普通に生活できることを目標に保護者・職員共に学びを深めながら援助している。要支援児童や育児に悩みを持つ保護者も増加傾向にあり、子どもを理解していくための一環として保育参加の実施等にも取り組んでいる。

#### 多様なツールで園の情報を発信し、地域の子育て支援事業に継続的に取り組んでいる

ホームページや掲示板、バスの広告などを利用して園の情報を発信しており、子どもたちの活動の様子や子育て中の保護者の育児支援となる情報を吟味して提供している。ボランティア・実習生は、オリエンテーションを実施して子どもの接し方や学んでほしいこと等、受け入れ姿勢を明確にして受け入れている。地域支援事業は「よちよちタイム」として親しまれており、継続の大事さを実感している。地域のお年寄りとも行事で交流し、お年寄りも園児も自然体で世代間交流が行われている。専門学校の実習生の受け入れも多く、職員の学びの場ともなっている。

	カテゴリー4					
リスクマネジメント						
サブカテゴリー1(4-1)						
リスクマネジメント	・に計画的に取り組んでいる サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	5/5				
評価項目1 事業所としてリス・	クマネジメントに取り組んでいる <b>評点(〇〇〇〇〇</b> )					
評価	標準項目					
<ul><li>あり ○ なし</li></ul>	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	〇 非該当				
<ul><li>あり ○ なし</li></ul>	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている 	○非該当				
<ul><li>あり ○ なし</li></ul>	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	○非該当				
<ul><li>あり ○ なし</li></ul>	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	〇 非該当				
<ul><li>あり ○ なし</li></ul>	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	○非該当				
	サブカテゴリ <b>ー</b> 2(4 <b>-</b> 2)					
事業所の情報管理	理を適切に行い活用できるようにしている サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	4/4				
評価項目1 事業所の情報管 <sup>3</sup>	理を適切に行い活用できるようにしている <b>評点(〇〇〇〇</b> )					
評価	標準項目					
<ul><li>あり ○ なし</li></ul>	1.情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	〇 非該当				
<ul><li>あり ○ なし</li></ul>	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している	〇 非該当				
<ul><li>あり ○ なし</li></ul>	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	○非該当				
<ul><li>あり ○ なし</li></ul>	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	〇 非該当				

#### カテゴリー4の講評

#### 日常の安全保育を優先に考え、子どもの危険回避能力を高めている

園では、日常、安全に保育をすることを優先に考えている。危機管理マニュアルを整備し、地震、火災、津波、その他自然災害、事故、事件、食中毒、大気汚染等に対する予防と対策が明記されている。ヒヤリハットに取り組み、保育日誌に記録し、職員会議で報告して原因と対応を検討している。年間200件ほどのヒヤリハットが出され、クラス・部位・曜日・症状・場所等で集計分析し、保健計画に沿って生活リズムや身体機能との関係性を考察し、子どもの危険回避能力を高める保育に取り組むことを職員と共有している。

### 災害時の活動計画に備蓄品の保管・更新について明記し、BCPを策定している

災害を想定し、保育園防災計画には災害時の活動計画、職員非常配備態勢等をまとめている。災害用備蓄物資管理マニュアルには、備蓄品の内容と保管、使用・補充等が明記され、1・2・3階に分けて保管している。「BCPの策定・運用・対策本部体制」には、策定・運用の体制、BCP及び初動マニュアルの更新時期、教育・訓練の実施を明記している。4月に区の防災課から講師を招き、職員・保護者・地域を対象に研修会を開催している。子ども自身の生き抜く力が大事と考え、幼児は、笛・水・乾パン等防災セットを各人が所有して訓練に臨んでいる。

## 個人情報保護規則、プライバシーポリシーに則って個人情報は適正に扱っている

法人が個人情報保護規則を整備し、プライバシーポリシーをホームページに掲載している。職員、実習生、ボランティアは、個人情報保護・ 守秘義務について誓約書に署名捺印している。保育園運営規定に基づき、個人情報は施錠できる書架に保管し、禁帯出としている。パソ コンにはパスワードを設定し、アクセス権限を設けている。事故防止を目的に監視カメラを設置しているが、「事故防止等のビデオカメラの 管理及び運用に関する規定」を整備し、カメラの設置場所や画像の管理、利用・提供の制限等を明記して保護者にも年度初めに伝えている。

		カテゴリー5				
5	職員と組織の能力	D向上				
		サブカテゴリー1(5-1)				
	事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育 サブカテゴリー毎の 成・定着に取り組んでいる 標準項目実施状況 1					
	評価項目1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている <b>評点(〇〇)</b>					
	評価	標準項目				
	<b>●</b> あり ○なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	○非該当			
	<b>●</b> あり ○なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り 組んでいる	〇 非該当			
	評価項目2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している <b>評点(〇〇)</b>					
	評価	標準項目				
	<b>●</b> あり ○ なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている	○非該当			
	<b>●</b> あり ○なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	○ 非該当			
	評価項目3 事業所の求めるノ	し、材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる <b>評点(〇〇〇〇</b> )				
	評価	標準項目				
	<b>●</b> あり ○ なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	○非該当			
	<b>●</b> あり ○なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	○非該当			
	<ul><li>あり ○ なし</li></ul>	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している	○非該当			
	<b>●</b> あり ○なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	○非該当			

評価項目4 職員の定着に向い	ナ、職員の意欲向上に取り組んでいる <b>評点(〇〇〇〇</b> )	
評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金、昇進・昇格等)・称賛などを連動させている	〇 非該当
<ul><li>● あり ○ なし</li></ul>	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	〇 非該当
● あり ○ なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	〇 非該当
● あり ○ なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	〇 非該当
	サブカテゴリ <b>ー</b> 2(5-2)	
組織力の向上に関	取り組んでいるサブカテゴリー毎の標準項目実施状況	3/3
評価項目1	уулда тай	3/3
評価項目1 組織力の向上に「	標準項目実施状況   標準項目実施状況	3/3
評価項目1 組織力の向上に「 取り組んでいる	標準項目実施状況 向け、組織としての学びとチームワークの促進に 評点(〇〇〇)	3/3
評価項目1 組織力の向上にで取り組んでいる	標準項目実施状況   標準項目実施状況	
評価項目1 組織力の向上に 取り組んでいる 評価	標準項目実施状況 向け、組織としての学びとチームワークの促進に  評点(〇〇〇)  標準項目  1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している  2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に	○非該当
評価項目1 組織力の向上に取り組んでいる 評価	標準項目実施状況 向け、組織としての学びとチームワークの促進に  標準項目  1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している  2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	<ul><li>○ 非該当</li><li>○ 非該当</li></ul>

法人ホームページ、インターネット求人サイト、区の人材サイト等で園の情報を発信して職員の募集を行っているほか、専門学校への依頼 や就職フェアなどにも参加して幅広く人材確保に努めている。毎年10名前後の実習生を受け入れており、状況に応じて就業を勧めてい る。園の円滑な運営を考慮し、実習、作文、面接を行い保育の考え方を確認した上で年齢や経験年数を考慮して採用を決定している。クラ スや役割については職員の適性を把握して配置している。

#### キャリアパスを示し、賃金や研修の目的を伝え、職員の処遇改善を行っている

ラダー表に勤務年数と職務の到達目標を明記し職員会議で説明しており、職員のキャリアパス認知度や仕事への意欲は高い。園長と個人面談を年に2回程度行い、自己評価シートを基に希望や今後の課題を確認している。自己評価は、資質や能力・良識・適正、研修・研究への意欲・態度、保育の計画性、保育の在り方・子どもへの対応の4シートあり、具体的な項目が記されている。また、キャリアアップ研修を機に賃金や研修の目的を伝え、処遇改善に努めている。勤務時間や休暇取得状況はデータ化して健康状態を把握し、看護師や園医のアドバイスを得ている。

## キャリアパスと連動した保育士の研修体系の下、課題解決に向けて研修を実施している

キャリアパスと連動した保育士の研修体系を作成し、年間の計画を立てて取り組んでいる。個人別研修計画では、個々の職員の希望も把握し園の課題に対応した内容の研修を計画的に受講している。園内研修も外部講師を招いて年に5回実施し、職員全員が受講して共通認識を持てるようにしている。障害児保育等に当たっては、専門家・専門機関に助言を求め職員・保護者共に学びを深め、日常の保育に成果を反映させるなど精力的に取り組んでいる。危機管理等内容によっては他の保育園や地域にも声をかけ、園内にとどまらず広く情報を共有している。

#### カテゴリー7

7 事業所の重要課題に対する組織的な活動

#### サブカテゴリー1(7-1)

事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている

#### 評価項目1

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)

#### 前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

- ② 社会全体で育む子育て文化を地域に発信するため、子育て支援、中高生の保育体験、お年寄りとの交流など、地域社会に開かれた施設として地域貢献を行う。
- ・子育て支援は年間計画を立てて、ベビーマッサージ、バランスボール、健康教育など月に1回実施した。夏祭り、運動会、パネルシアターなど園行事への参加も呼びかけた。
- お年寄りは、夏祭り、バイオリンコンサート、チェロコンサート、サンマまつりに招いた。
- ・中学生の保育体験では、小さい子どもと触れる楽しさや大変さなどかかわり方を伝えた。
- ② ・子育て支援は、計画通り月に1回実施した。地域に定着し、掲示板やホームページを見て参加する人が増えた。子育て支援では、母親のケアや父親の関りも伝えたことで夫婦そろっての参加が多かった。
- ・お年寄りの行事参加も多く、コンサートの参加者からは「近くで本物の音楽に触れられ幸せ」との感想もあった。夏祭りでは子どもたちとー 緒に盆踊りを楽しんだ。
- 会 子育て支援は、継続実施の重要性を認識した。子育ての専門性を地域に伝えることが地域貢献と考え、H30年度も子育て支援に取り組んでいる。

	•	具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った
目標の設定と 取り組み	0	具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった
	0	具体的な目標が設定されていなかった
	•	目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った
取り組みの検証	0	目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む)
	0	設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
	•	次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた
検証結果の反映	0	次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない
	0	設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

## 評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

#### 〈目標設定・取り組み〉

社会全体で育む子育て文化を地域に発信するため、地域の子育て支援、中高生の保育体験・高齢者との交流という具体的な目標を設定 し、年間計画を立てて取り組んだ。

#### 〈取り組みの検証〉

地域の子育て支援、中高生保育体験、世代間交流ともに計画通り実施した。アンケート等で感想をもらっているが、高齢者からは「遠くに 出かけられないが、近くで本物の音楽に触れられ幸せ」との感想があった。地域子育て支援では、行政の育児講座の選外となったプレママに園で指導できる内容を伝え、看護師が誤嚥時の対応や沐浴指導を行い、楽しみながら一緒に実践してもらう機会もあった。保育園は地域の子育て支援の専門機関(資源)であること実感した。

## 〈検証結果の反映〉

保育園は地域の子育て支援の専門機関(資源)であること実感し、継続して実施することの重要性を認識した。H30年度も引き続き地域 の子育て支援、世代間交流を事業計画に載せて取り組んでいる。

#### 評価項目2

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)

#### 前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

- 木育活動は年間5回のワークショップ(WS)を計画的に開催した。
- ·6月: 丸太切りWS、10月: バードコールWS、12月: くぎを使った写真立てWS、1月: お箸づくり、3月: 花壇づくり
- ・職員が自然の楽しみ方の研修を受講し、散歩や園外保育で子どもの育ちに役立つ働きかけを探求した。
- ・WSで製作したものを散歩に持って行き、自然への興味関心を広げた。
- 職員が研修受講し、園外に出かけるねらいを明確に意識できるようになった。
- ・散歩先として自然環境に恵まれた場所を選び、子どもの感性が広がる取り組みを行った。
- ・WSで製作したものを持って散歩に出かけ、興味が増したり、自分で作った箸を家に持ち帰り箸で食事をするようになったりした。
- ・保護者にも自然の大切さを理解してもらえた。
- ④ 木育活動は子どもの感性を豊かにする効果が確認でき、H30年度も引き続き計画に取り組み、更に保護者を巻き込んだ活動として発展させている。

	•	具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った
目標の設定と 取り組み	0	具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった
	0	具体的な目標が設定されていなかった
	•	目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った
取り組みの検証	0	目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む)
	0	設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
	•	次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた
検証結果の反映	0	次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない
	0	設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
1		

#### 評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

## 〈目標設定・取り組み〉

自然とのふれあいやモノづくりを通して仲間づくりや体づくりを行うことを目標として、木育活動という具体的な目標を設定し、年間計画を立 てて取り組んだ。

#### 〈取り組みの検証〉

年5回WS形式で、丸太切り、バードコールづくり、写真立てづくり、お箸づくり、花壇づくりを行った。 職員も木育の研修で、散歩ねらい等を明確に意識できるようになった。 WSで製作したものが、子どもの興味関心を広げるツールとなったことも確認できた。

#### 〈検証結果の反映〉

木育活動は子どもの感性を豊かにする効果が確認できた。同時に職員の学び(子どもが興味関心を持つための働きかけ)にもなった。H3 O年度も引き続き木育活活動に取り組んでいる。今年度は保護者を巻き込んで園庭の環境整備に発展させている。 〔サービス分析:認可保育所〕 平成30年度

《事業所名:西糀谷しろはと保育園》

## Ⅱ サービス提供のプロセス項目(カテゴリー6-1~3、6-5~6)

No.		共通評価項目	
		サブカテゴリー1	
	サービス情報の扱	<sup>是供</sup> サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	4/4
	評価項目1 利用希望者等に対	対してサービスの情報を提供している <b>評点(〇〇〇〇</b> )	
	評価	標準項目	,
	<b>●</b> あり ○ なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	○ 非該当
	<b>●</b> あり ○ なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものにしている	〇 非該当
	<b>●</b> あり ○ なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	〇 非該当
	<b>●</b> あり ○ なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	〇 非該当
	ホームページャ	・ や区のガイドブックで基本情報や園の特色など情報提供している	
	などの取り組み): 緊急一時保育、子	−ジは、概要の他、保育園の思い(法人の理念、保育理念、保育目標)特色ある保育(運動遊び・異年齢交) 年間行事など掲載し、園のニュースとして地域の高齢者との触れ合いなど保育活動の様子を写真入りで紹子育て相談、毎月のよちよちタイムは写真入りで子育て支援の取り組みが分かりやすく情報提供されているにとって良い環境を目指していることなど、園の特徴が紹介され必要な情報が得られるようになっている。	介している。
	行政や関係機	関にも情報を提供し、近隣施設でも情報を得られるようにしている	
	など掲載している 付している。園の:	-ジに園の情報を掲載し「保育ガイド」には園の保育理念や保育目標、定員など概要と各種事業、体験保育。また、地域の小学校、児童館、町内会など幅広く園の情報を理解してもらうように毎月の園だより「しろはどホームページは携帯電話からも見やすいように構成を修正し、また、園の特性が分かりやすいように写真を報をタイムリーなものにし「よちよちタイム」に地域の親子が気軽に参加できるようにしている。	とだより」を送
	見学は随時受	付け、希望に沿った日程で対応が出来るようにしている	
	利用希望者の見望配付しながら、園よちよちタイムなる	学は随時、希望に沿った日程で受け付け園内の体制を整えて園長・主任が対応している。見学時には園のの保育理念、保育方針や活動内容を説明している。また、妊娠中から生後7カ月児までを対象にしたバランビ子育て支援事業の機会に園見学を入れたり、園見学の際に園庭開放や体験保育のお誘いをし、様々な様でいる。園の玄関には木のぬくもりのあるコーナーに絵本や玩具が置いてあり、訪れた人に園の雰囲気が	スボールや、 養会に見学が
		サブカテゴリー2	
2	サービスの開始・	終了時の対応 サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	6/6
	評価項目1 サービスの開始に	こあたり保護者に説明し、同意を得ている <b>評点(〇〇〇)</b>	
	評価	標準項目	
	<b>●</b> あり ○ なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	〇 非該当
	<b>⊚</b> あり ○ なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
	<b>●</b> あり ○ なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	〇 非該当

	評価項目2 サービスの開始及	なび終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている	<b>証 た ( 0 0 0 )</b>	
			評点(000)	
	評価	標準項目		
	<ul><li>● あり ○ なし</li></ul>	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に   	記録し、把握している	〇 非該当
	<ul><li>● あり ○ なし</li></ul>	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している		〇 非該当
	<ul><li>あり ○ なし</li></ul>	  3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮し 	た支援を行っている	〇 非該当
	@ 337 () 100			Onixa
		サブカテゴリー2の講評		
	入園前に入園オリ 育園ガイドブックの 等を把握するため	エンテーションを開催し、重要事項など保護者に説明している リエンテーションを実施し、保育園ガイドブックに沿ってパワーポイントを使い基本ルー D内容は園長・看護師・栄養士が分担して具体的に保護者に説明している。同日に子 Dに、O歳児は保育士・栄養士・看護師・園長が、1歳児以上は保育士・看護師・園長が 沿って説明された内容に同意できるかチェック項目を使い確認している。	どもの個別な健康状況	兄、生活状況
	入園面接で、園長 査票や新入園児 護者の意向を確認	な育歴や配慮事項を入園時の面接で確認し、決められた書式に記録して 、看護師、栄養士、保育士は情報の収集に努め、子ども一人ひとりの成育歴や配慮 面接記録用紙に記入し把握している。アレルギー既往歴、離乳食の様子、延長保育利 忍している。面接で得た子どもの個別な情報は新入園児面談記録に基づいて職員会 間中は朝夕の送迎時に、時間を取って保護者と丁寧に話を吸うるように心がけ、入園	点、保護者の意向を確 利用時間、慣れ保育な 議で情報を共通し全体	ど具体的に保 的に把握して
	入園前の園長面 園で過ごしミルク ている。毎朝、担	リズムを大事にし安心して園生活に慣れるようにしている 妾で保護者の意向を考慮し慣れ保育計画表を作成し、4月初日に再度確認している。 や食事、遊び、睡眠など子どもの様子やくせなど観察し、家庭でのリズムを把握して子 当保育士が子どもの受け入れをして、安定した関りの中で徐々に保育時間を延ばし根 また卒園・退園児には夏祭り、運動会など行事のお誘い葉書を担任のコメント入りでと	ーどもに沿った対応が出 Rね一週間で保護者の	は来るようにし 希望の保育
		サブカテゴリー3		
3	個別状況の記録の		·ブカテゴリー毎の 薬準項目実施状況	12/12
	個別のサービス均	こ従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を 場面ごとに明示している	評点(〇〇〇)	
	評価	標準項目		
	● あり ○ なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し批 	性歴している	〇 非該当
	<ul><li>● あり ○ なし</li></ul>	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している		○非該当
	● あり ○ なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている		〇 非該当

評価項目2	子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している	
主体的な計画で	すともの様子を聞よえた指導計画を1F成している <b>評点(0000)</b>	
=π / <del>π</del>		
評価	標準項目  1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環	
● あり ○ なし	傍、三茂、主羽)の名領域な老歯L で作成L でいる	〇 非該当
<ul><li>● あり ○ なし</li></ul>	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている	○非該当
<ul><li>あり ○ なし</li></ul>	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	○非該当
<ul><li>あり ○ なし</li></ul>	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	〇 非該当
1	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたうえで、必要に応じて見直している	
● あり ○ なし		○ 非該当
評価項目3 子どもに関する記	己録が行われ、管理体制を確立している	
	評点(〇〇)	
評価	標準項目	
<ul><li>● あり ○ なし</li></ul>	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	〇 非該当
<ul><li>あり ○ なし</li></ul>	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	〇 非該当
評価項目4	こ関する情報を職員間で共有化している	
丁ともの(水池寺)	では、	
評価	標準項目	
<ul><li>あり ○ なし</li></ul>	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	〇 非該当
9 0 00	  2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化してい	0 21 821
● あり ○ なし	3	〇 非該当
	サブカテゴリー3の講評	
日々の保育や	)連絡帳を通して、子どもの発達状況や健康状態を捉えて記録している	
児は連絡帳で3歳 歳児は2カ月毎、	した子どもの心身や生活の状況、健康面などは家庭状況調査表に記入し把握している。入園後の日々の生 歳児以上は検温表で健康状態を把握している。発達チェックは記録用システムの個別児童票を使用して0歳 2歳児以上は3ヵ月毎に成長の確認をしている。全園児、保護者と共に子どもの姿を確認し、今の姿、育てが けを記入した個人目標「すくすくプラン」を作成し、個人面談で計画の到達点を保護者と確認し見直し次年度に	児は毎月、1 こい力、具体
保育の計画を	クラスだよりで具体的に保護者に知らせ、子どもの育ちの姿を共有している	
している。4期に 伝えている。毎月	の改定に伴い、法人の保育の理念や、園の教育・保育目標を明記し「全体的な計画」を職員間で一年かけて分けてクラスの特長や、個々の子どもの様子を確認し年間指導計画を作成し、年度当初の園だよりで知らせる計画は、園だよりでクラス目標を保護者に知らせると共に週の計画を掲示し、ねらいや活動内容を知らせてクラス報告を作成し、職員会議で生活と活動の全体的な様子と個別な状況を報告し、見直しや振り返りを	保護者会で ている。月の
子どもに関わ	る全職員が子どもの状況を共有できるよう更なる取り組みを課題にしている	
に参加できなかっ 口頭での確認が	りの状況や家庭状況の変化についてはクラスだけでなく全職員が把握できるように、昼礼・職員会議で報告しった職員は昼礼ノートや職員会議記録に目を通し把握している。記録も分かりやすく書くようにしているが、内必要な場合もある。勤務形態が様々な非常勤職員に情報の伝え方を工夫し共通理解が出来るような取り組 け入れから延長保育まで、子ども一人ひとりの様子や保護者に伝える事など、引き継ぎ簿に記入し職員間で	容によってはみを課題にし

		サブカテゴリー5				
5	プライバシーの保		テゴリー毎の 負目実施状況	5/5		
	評価項目1 子どものプライバ	シー保護を徹底している	評点(〇〇)			
	評価	標準項目	÷ + /8 7 1 5 1 -1			
	<b>● あり ○ なし</b>	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要が生じた場合には、保護者の同語でいる	息を得るようにし	〇 非該当		
	② まり ○ なし 2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている ○ 評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している <b>評点(○○○)</b>					
		標準項目				
	<ul><li>あり ○ なし</li></ul>	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している		〇 非該当		
	<ul><li>あり ○ なし</li></ul>	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている		○ 非該当		
		3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を活	深めている	_		
	あり ○ なし			〇 非該当		
		サブカテゴリー5の講評				
	法人の個人情報保護規定に基づき、保育園ガイドブックに個人情報および肖像権についての内容を記載している。新入園児のオリエンテーションや保護者会で説明し内容を確認し、保護者から同意書を提出してもらっている。年長児の就学に向けて、保育要録を学校に提出することや就学支援シートを関係機関に送付するなどについては年度当初の保護者会で説明している。子どもの羞恥心に配慮しブールの着替えやオムツ交換の際はロールカーテンや仕切りを使用して行うようにしている。身体測定の際にもロールカーテンを引くなどエヺをしている。  子ども一人ひとりの気持ちを大切にし、個々の発達に合わせた保育を行っている 全体的な計画を基に個別計画を立て、集団生活の中でも一人ひとりの発達に合わせた保育を職員間で共通理解をして進めている。園の保育理念では、子どもの個性・人格を尊重し日々の生活の中で、家族と共にその成長・発達の援助を行っていくことを明記している。子どもの最善の利益を考慮し、保護者の考えに寄り添い個別な事情による要望にも柔軟に対応できるように努めている。今回の利用者調査の中でプライバシーに関する保護者からの意見があり、面談の場所の配慮やプライバシー保護について不適切な点はなかったか振り返る機会を持つことが望まれる。 虐待に対する理解を深める取り組みや、関係機関との体制を整えている 虐待に関する知識を深めるために行政の「児童虐待防止マニュアル」の「虐待に気づくためのチェックリスト」「虐待通告の手順」などクラスに配付している。虐待の種類や虐待発見について職員間で確認し共通理解をし、虐待通告の手順の内容を確認している。育児困難家庭を事前に把握した場合、保護者へのきめ細かい対応が出来るようにしている。園が虐待の早期発見の役割を担い、虐待に気づいたら、グラスから園長に報告し、それに基づいて児童相談所など関係機関と対応することになっている。通報の義務があることを保護者にも伝えて理解を得ている。					
		サブカテゴリー6				
6	事業所業務の標	1.1-	テゴリー毎の 頁目実施状況	5/5		
	評価項目1 手引書等を整備し	し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている	評点(000)			
	評価	標準項目				
	<b>●</b> あり ○ なし			○非該当		
	● あり ○ なし			〇 非該当		
	● あり ○ なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活	用している	〇 非該当		

評価項目2	めざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている	
9 CAWINITE	評点(〇〇)	
評価	標準項目	
	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている	
● あり ○ なし		〇 非該当
	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	○ 非該当
	サブカテゴリー6の講評	

# 各種マニュアルが整備され、日常業務で活用や点検を実施している

業務マニュアル(保育編)には保育の基本、子どもの人権、虐待、危機管理マニュアルなど園運営全般の基本となる手順や考え方を掲載している。安全保育の手引き、アレルギーマニュアルなどと共に、保育業務の中で疑問が出ると確認し職員に周知している。安全保育やプライバシーの保護など職員会議や昼礼で読み合わせをして確認している。半年に一度ガイドブックを見直しサービス内容を確認し、日常保育についても、園庭点検表、戸締りチェック表、事故対策チェックリスト等々を使って定期的な安全点検、見直しをして業務の標準化を図っている。

## サービスの向上を目指して、職員の意見、提案を保育の質の向上につなげている

手引書は日常保育の中で活用できるように、保育園業務マニュアル、区の手引き、虐待チェックリストなど各クラスに設置、いつでも確認が出来るようにし業務の標準化に努めている。園長・主任・看護師・各リーダーが中心になり日常保育マニュアルを基に年に一度、短期的、長期的、緊急性のあるものに分類し見直し、緊急性のあるものは随時改善している。職員からの意見を基に、すくすくプラン(保護者と共有している個人目標)ファイルを見やすく改善、避難用の靴入れ、掲示板に大事な物は黄色い枠を付けて見やすくするなど見直し改善している。

### 行事の後にアンケートを取り保護者の意見を集約しフィードバックしている

園では行事の終了後や保護者会の折に定期的に保護者の意見を収集するためにアンケートを取り、保護者に行事や園運営について感想や意見を寄せてもらっている。保護者の提案や意見について見直しが必要な内容については職員会議で話し合い、改善につなげると共に保護者にフィードバックするようにしている。保護者の要望に基づいて門扉のオートロックや、園生活の写真を保護者の都合に合わせて見られるようにし安全面や、園のシステムの改善に務めている。

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリー6-4) サブカテゴリー4 サービスの実施項目 サブカテゴリー毎の 35/35 標準項目実施状況 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている 評点(00000) 標準項目 評価 1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている ● あり ○ なし () 非該当 2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫 している ● あり ○ なし () 非該当 3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している ● あり ○ なし () 非該当 4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通 して共に成長できるよう援助している ● あり ○ なし ○ 非該当 5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対 応をしている ● あり ○ なし ○ 非該当 6.【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している () 非該当 ● あり ○ なし 評価項目1の講評 少人数の保育体制をとり一人ひとりへの丁寧な関わりが子どもの主体性を育てている O・1・2歳児クラスは緩やかな担当制、幼児クラスはグループ保育を行っている。子どもの姿をとらえた環境構成や援助の仕方を工夫し小 グループでの環境保育を行っている。少人数の保育をすることで職員が一人ひとりと丁寧に関わり子どもの24時間を把握し、子どもの状 態により臨機応変に対応できている。職員の主体的に考える姿が、5歳児の雑巾リレーで、負けた子どもの「僕のせいでごめんね」の言葉 に対して「ふざけてないし、最後まで頑張ったんだから〇君のせいではない」と言い、頷ける5歳児の主体的な心を育てている。 -人ひとりを丸ごと受け入れる職員の姿勢が子どもにも浸透し共に育っている 特別な配慮の必要な子どもが日常生活に不自由なく過ごせるように、園内の動線を工夫したり、職員が関係機関の先生の講演を年3回 受け、助言を受け保護者と相談しながら子どもの状況に合わせた支援を行い着実に成長を続けている。子ども同士の中では「色々な人が いるんだよ」と、それぞれのプラス面もマイナス面も丸ごと受け入れていく、職員の姿勢が子どもの中にも浸透し相互の見事な心の育ちと なっている。子ども同士のトラブルについて乳児期は子どもの気持ちを受け止めている。幼児は子ども同士の中で解決できるよう指導して いる。 子どもも保護者も小学校への理解を深め円滑な接続に向け小学校と連携し取り組んでいる 区の幼保小連絡会や研修会に職員が参加し、職員間の連携をとると共に、保育要録就学支援シートを作成し地域小学校に提出をしてい る。小学校の作品展、学芸会を年長児が見学に行き、年度末には小学校が交流の機会を作って、年長児が1年史の授業の様子を見せて もらい交流の機会を作る等小学校と連携をとっている。4月に年長児クラスの保護者を対象に小学校の先生の講演会をひらき、職員、子 ども、保護者が小学校への理解を深め小学校教育への理解をして、円滑な接続ができるよう取り組んでいる。

#### 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている 評点(0000) 標準項目 評価 1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している ○ 非該当 ● あり ○ なし 2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している ● あり ○ なし ○ 非該当 3.休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している ● あり ○ なし ○ 非該当 4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている ● あり ○ なし 〇 非該当

#### 評価項目2の講評

#### 子どもの表情や機嫌を確認し保護者に状況を聞いたり連絡帳を確認し記録をしている

登園時には、当番保育士または担任が子どもの表情、顔色、機嫌等を見ながら、保護者に昨日からの健康状態等確認をして昨日の引き継ぎノートの園からの確認や連絡事項と昨日の家庭からの伝言を伝え合い引き継ぎノートに記録をしている。0・1・2歳児は連絡帳に休みの日の状態も記入してもらい把握している。朝の当番職員からクラス担任へは、口頭と引き継ぎノートへの記述で行っている。休み明けや体調により疲れて遊べない子どもは事務所や、保育室で横になったり、静かな遊びをして気分を変えてから、活動に参加するケースもある。

#### 家庭と一緒に子どもの状態に合わせ無理なく生活習慣をすすめている

保護者会では各年齢の発達の特徴や今の子どもの状態等資料と共に説明をし、発達には個人差がある事を伝え、子どもの状態を見ながら、保護者と一緒に無理なく生活習慣をすすめている。人形に洋服を着せたり、ボタンはめあそび等のままごと遊び、手洗い等園生活の中で友達と一緒に育つ部分も紹介している。24時間の連続としての生活リズムを考慮し必要に応じて朝寝や昼寝簿時間調整している。午睡中の健康確認は0歳児は5分毎、1・2歳児は10分毎、幼児は30分毎に確認し記録している。年長児は1月上旬から午睡時間を減らし3月から寝ていない。

#### 連絡帳や掲示で伝え、担任以外の職員も気づいた一言を伝えるように努めている

朝の受け入れ担当からの伝言は引き継ぎノートとロ頭で担任に行い、昼礼では、お迎え時に伝えたい保護者への伝言も含めたクラスの子どもの連絡事項を伝えている。担任からお迎え時の担当には、連絡帳、引き継ぎノート等への記録とロ頭で引き継ぎ保護者へ連絡漏れのないようにしている。O・1・2歳児は園での様子を連絡帳に記録し、幼児クラスは今日の活動として、活動のねらいと様子を時には写真を加え、分かりやすく掲示をしている。お迎え時には、担任以外の職員も、自分の気づいた一言を話すように心がけている。

5	■亚	柵	ा百	$\blacksquare$	િર

日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している

#### 評点(00000)

評価	標準項目				
	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている				
あり ○ なし		〇 非該当			
	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している				
あり ○ なし	1 111 (1202) 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	〇 非該当			
● あり ○ なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	〇 非該当			
	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている				
あり ○ なし		〇 非該当			
	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている				
あり ○ なし		〇 非該当			
	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、 配慮している	〇 非該当			

## 評価項目3の講評

## 自身で考えて行動したり工夫して作り出したり子どもの傾向を捉え環境配慮をしている

その年度の子どものカラーや遊びの特徴を捉え環境設定をしている。今年度は、自分たちで考えて行動したり、見てきたものを作ろうとする等製作の好きな子どもの傾向をとらえ、空き箱やテープ等素材を用意し必要な時に必要な物が自由に選べるように配慮している。0・1・2歳児の保育室も、子どもが自分で選び、取り出してあそべるように取り出しやすい棚の高さ、玩具の配置、見立てて遊べる玩具や、人形が一体ずつ布団に寝ている、ままごとコーナー等遊びたくなる環境と、小グループで子どもに合わせて食事をとる等遊びこめる時間を作っている。

## 様々な静と動の活動を取り入れ園での日常が楽しいものとなるよう取り組んでいる

5歳児は紙芝居で見ていたお話しを、物語を耳で聴くことの面白さへと興味の変化もでて、好きなお話しのイメージをグループで描いたり、 ごっこ遊びから、生活発表会に発表することになる。意見を出し合い台詞を考えイメージを形にしている。0歳からの職員との安定した関わりが5歳児の自分たちで考える力を育てている。体力とコミュニケーション能力向上のために運動遊び、表現力を豊かにする木育活動、午睡後の英語、リズム遊び等静と動の活動を取り入れ園での日常が楽しいものとなるよう取り組んでいる。

#### 悔しさや我慢の気持ちを次の頑張りに切り替える力を育てたいと努めている

指導計画に沿って公園や神社等の散歩でどんぐりを拾い製作に使ったり、園庭での野菜栽培や泥んこ遊び、農園でさつま芋の苗を植え育てて、収穫して焼き芋等の活動を通して季節を感じ、木育では、木を切ってマイぽっくりを作る等自然を体全体で体験している。保健指導で、「怪我をしない為にはどうしたらよいか」「我慢の脳みそ」というテーマでパネルシアター使って健康教育を行っている。友達とのかかわりの中で体験する悔しさや我慢の大切さなど、子どもの心を育てるための教育が日誌の中に見られる。

	化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している <b>評点(〇〇〇</b> )	
評価	標準項目	
<b>●</b> あり ○ なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	〇 非該当
<b>⊚</b> あり ○ なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	〇 非該当
<ul><li>あり ○ なし</li></ul>	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	〇 非該当
	, 評価項目4の講評	
目的を理解し	ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー	
3段横を飛び越えりたい」「苦手だか	沿い、行事に取り組んでいる。運動会では、毎日取り組んできた運動遊びを発表することになり、運動会にむ」。る」「縄跳びの二人跳びを頑張る」等5歳児は自分の目標を決めている。具体的に目標をたてた理由は「もっいる」等自分を振り返り、運動会という目的地に向けてそれぞれが自分で取り組もうとする力を応援しながらも感情が芽生えたり、プレッシャーでナーバスにならないように暖かく見守る職員の配慮が子どもの行事への意味が	oと上手にな 、自分だけ?
夏祭り、お月見、 は、始まりの合図 大勢のお客様の	のことをやり遂げた達成感が自信となり低年齢児の憧れで目標となっている 運動会等日本の伝承行事や季節行事等子どもたちが主体的に関わるように取り組んでいる。夏祭りでは、年 を放送するところから、金魚やさん、おもちゃ屋さん、オシャレやさんの係をして、園児と保護者、地域の人、 相手をしている。保護者の感想に、年長児のすがたをみて、来年はお店屋さんになるんだと今から楽しみにし 動会の組体操でも協力して支え合い成功させる等の体験がやり遂げた達成感となり、自信となり、低年齢児の	卒園児等の しているとい
行事の取り組み	みを積極的に伝え園の保育や行事への姿勢の理解を得るよう努めている	
を今日の活動の持 る。行事終了時に	配付し、保護者会で御神輿の説明をしている。園だよりや掲示で事前に行事のねらいを伝え、活動の取組み 掲示で伝えている。クラスだよりでは、行事に向けての取り組みを伝え、子どもと一緒に行事を共感できるよう にはアンケートをとり、アンケート結果を公表している。クラスだよりで、行事中、行事後の子どもの活動と行事 え、親子で木工工作や運動の先生の指導で親子で運動遊びをする等、行事や保育を子どもと一緒に体験している。	を体験してい
評価項目5 保育時間の長い <sup>-</sup>	子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている <b>評点(〇〇</b> )	
== /==		
評価	標準項目	
評価 ● あり ○ なし	標準項目 1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	〇 非該当
● ಹರಿ ○ なし		0
	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている 2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	<ul><li>○ 非該当</li><li>○ 非該当</li></ul>
<ul><li>● あり ○ なし</li><li>● あり ○ なし</li></ul>	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている 2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている 評価項目5の講評	0
● あり ○ なし  ● あり ○ なし  年間計画を立 長時間保育の年間の24時間を連絡動の様子を記述さ	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている 2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	<ul><li>○ 非該当</li><li>いる。子ども</li><li>こ子どもの活</li></ul>
● あり ○ なし  ● あり ○ なし  年間計画を立 長時間保育の年間の24時間を連絡動の様子を記述さ 用意し、ジョイント	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている  2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている  評価項目5の講評  て、子どもの24時間を把握し、安心して過ごせる環境を作っている  間計画を立て年齢別のねらいと配慮、環境、職員連携、家庭との連携、を4期に分けて、期毎の評価をしてし帳や送迎時の保護者との会話で把握し、延長担当職員に引きつがれ、担当職員は、指導計画、延長日誌にをすることで子ども一人ひとりのようすに合わせた保育をしている。異年齢の合同保育となり、体に合うテーフ	<ul><li>○ 非該当</li><li>いる。子ども</li><li>こ子どもの活</li></ul>
● あり ○ なし  ● あり ○ なし  年間計画を立 長時間保育の年 の24時間を記 用意し、ジョイント 同じ職員がそし 延長保育担員がい にし、同じ職員がい	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている  2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている  評価項目5の講評  て、子どもの24時間を把握し、安心して過ごせる環境を作っている 間計画を立て年齢別のねらいと配慮、環境、職員連携、家庭との連携、を4期に分けて、期毎の評価をしてし 帳や送迎時の保護者との会話で把握し、延長担当職員に引きつがれ、担当職員は、指導計画、延長日誌に をすることで子ども一人ひとりのようすに合わせた保育をしている。異年齢の合同保育となり、体に合うテープ・マットを使ってゆったり座って過ごせる空間を工夫している。	○ 非該当  いる。子ども  こ子どもの活  ブルと椅子を

6	評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している <b>評点(〇〇〇〇</b> )		
	評価	標準項目	
	● あり ○ なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○ 非該当
	● あり ○ なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	〇 非該当
	● あり ○ なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	○ 非該当
	<b>●</b> あり ○ なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	○ 非該当
		評価項目6の講評	
	同じ時間に食べるのでなく、発達や生活時間等を考慮し小グループで食事を楽しんでいる 0・1・2歳児クラスは緩やかな担当制、幼児クラスはグループ保育を行っている。子どもの姿をとらえた環境構成や援助の仕方を工夫し小グループでの環境保育を行っている。少人数の保育をすることで職員が一人ひとりと丁寧に関わり子どもの24時間を把握し、子どもの状態により臨機応変に対応できている。職員の主体的に考える姿が、5歳児の雑巾リレーで、負けた子どもの「僕のせいでごめんね」の言葉に対して「ふざけてないし、最後まで頑張ったんだから〇君のせいではない」と言い、頷ける5歳児の主体的な心を育てている。2 アレルギー児の配膳トレーは、除去食名や写真を貼付する等誤食防止に努めている食物アレルギーについては、医師の指示書に従って除去食や、代替食品を提供している。献立表を事前に保護者に見てもらい除去や代替の確認をして提供している。誤食防止のためにトレーに写真を貼付して、除去食名を記入し、食器の色わけをして分かりやすくしている、配膳には複数回の確認をしている。離乳食については保護者と面談をして食材の確認をし、新たな食材を取り入れる時は家庭で食べてから進めている。離乳食の段階をあげる時は日本語の通じない保護者には、翻訳機を使い対応している。 栽培、収穫、調理等を通して季節の香り、感触、味に触れ食への関心興味を深めている食育行動を進めている。場で作り、調理等を通して季節の香り、感触、味に触れ食への関心興味を深めている食育活動を進めている。場で作り、調理等を通して季節の香り、感触、味に触れ食への関心興味を深めているり、など、関値でサンマを焼いて丸ごと食べる等、季節感溢れる経験をしている。玉ねぎの皮むきや枝豆のさやとり等給食作りの一端に参加したり、稲を育てラップでおにぎりを作り食べて香りや感触を楽しみ、お月見のお団子つくり等伝承行事を食育を通して身の一端に参加したり、稲を育てラップでおにぎりを作り食べて香りや感触を楽しみ、お月見のお団子つくり等伝承行事を食育を通して身		
7	近に接している。 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している <b>評点(OOO)</b>		
	あり ○ なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	〇 非該当
	あり ○ なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	〇 非該当
	<b>●</b> あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	〇 非該当

#### 評価項目7の講評

#### 体幹を作る活動をO歳児から継続的に行い、自分で自分を守る保健指導に取り組んでいる

保健計画を作成し、計画的に保健指導を行っている。けがをしないためにはどうしたらよいか、子ども自身で考える指導や、パネルシアターを使い、子どもが関心を持てる指導を工夫している。子どもの体幹を作ることを目標とし、0歳児から這い這いをたくさんさせる等、運動遊びを継続して実施している。自分で自分の命を守る取り組みの一つとして、4・5歳児は防災リュックを準備し、中には、ペットボトル、笛、乾パン、保護シートを各自の避難袋に入れて個別に保管している。

## 園と子どもの心身の健康について相談や助言を受けたり専門機関と連携体制ができている

入園前の健康診断時に園医から感染症についてや個別健康面、集団生活について等保護者に説明をしている。定期的な健診の他にけがや子どもの心身の健康について園医に相談し、助言を受けている。専門機関で定期的に受診をする子どもについては保護者を仲立ちにしてアドバイスを受けている。AEDの使い方や、熱中症予防、感染症発生時の対応、救急救命研修等看護師が中心となり、園内研修をしている。ヒヤリハットの記載方法を工夫し、ヒヤリハットが出しやすいように提出方法を変え。職員会議で報告をし周知をしている

#### 健康や保健に関する情報と園の取り組み等を掲示やお便りで伝えている

入園時健康診断で健康や感染症について、園医から説明をしている。保護者会で看護師が、誤飲について等、年齢に合わせて説明をしている。感染症発症した場合は保健用の掲示板に掲示をしたり、予防接種について等、関係機関からのポスターやチラシ等で情報提供している。SIDS予防について園の取り組みを伝え、家庭での注意を呼び掛けている。園は、O歳児5分毎、1・2歳児は10分毎、幼児は30分毎に確認記録をしている。特に心拍数が異常な子どもには、布団の下に機械を設置して昼寝をしている。保健だよりで健康に関する情報を発信している。

#### R | 延価項日8

保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている

評点(0000)

 評価	標準項目	
	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	
● あり ○ なし	10.10	〇 非該当
	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	
● あり ○ なし		〇 非該当
	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	
● あり ○ なし		〇 非該当
	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	
● あり ○ なし		〇 非該当
	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	i i
● あり ○ なし		〇 非該当

#### 評価項目8の講評

## 保護者会や保護者参加行事等で保護者同士が交流できるよう計画実施している

入園時面接、クラス懇談会、個人面談、保育参加・参観、連絡帳、送迎時の会話等で子育てや就労等の情報を把握し、個々の家庭の事情に応じて支援を行っている。急な保育時間変更について、丁寧な対応という多くの意見の中で、若干、延長保育の仕組みについての不満の意見があり、園では変更を予定している。保護者会では、「子どもが成長したと思った出来事」等共通の話題で意見交換の場を作る等保護者同士の交流の工夫を各クラスしている。七夕、夏祭り、運動会等親子間での交流の機会を作っている。

#### |保護者との日頃の人間関係を大切にし子どもの生活を丁寧に伝える工夫をしている。

保護者との信頼関係構築のためには、日頃の挨拶や送迎時のコミュニケーションを大切にすることで保護者が育児について話しやすい環境を整えることとして、挨拶プラスー言声掛けを心がけている。園での子どもの生活をより詳しく知ってもらいたいと、園だより、クラスだよりに、時には、写真も交えて発行し、O・1・2歳児は連絡帳で個別の情報を家庭と交換し、3・4・5歳児は月や週の予定やねらい、活動の実際を掲示し、保護者会前には資料、終了時には報告の配付と細やかに情報発信をしたり、個人面談、保育参観と個別の話す機会を大切にしている。

#### |すくすくプラン作成や講習会講演会等実施し保護者と共通認識を得る取り組みをしている

すくすくプランは、個人面談をして、家庭と園が1年間の目標を個別に設定し中間と年度末に見直しており、保護者と一人ひとりの子どもに対する共通理解をして育児をすすめていく機会となっている。個人面談年2回、クラス別保護者会年2回、保育参観保育参加、年1回実施している。親子で木工製作、運動遊びの講習会や就学に向けて小学校の先生を招き講演会をしたり、保護者会や日常的に看護師が助言や指導を行ったりしている。掲示や配付物、送迎時の会話等保育活動を伝える工夫をりている。引き続き保育活動を伝える工夫を期待する。

	評価項目9 地域との連携のも	もとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている <b>評点(〇〇)</b>		
	 評価	標準項目		
. [		1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している		
	● あり ○ なし		〇 非該当	
		2. 園の行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	〇 非該当	
		評価項目9の講評		
	地域に自然な形で溶け込み人々と暖かなふれあいが地域に愛される存在となっている			
	コミュニティ農園でさつま芋の栽培、収穫をしている。月1回図書館に行き、気に入った絵本を借りてきている。元民生委員の方の紹介で地域の高齢者の集まりに参加し交流を持っている事から卒園児にと手作りの鉛筆立てを頂いている。七夕には神社での七夕飾り作りに参加し作り方を教えてもらい、園の夏祭りに高齢者の方が浴衣を着せてくれたり、新年子ども会では十二支の紙芝居を見て、伝承遊びを一緒に楽しんだことから、十二支の紙芝居を園が高齢者の会に貸し出したり、日常的な関りの中で人々との温かなふれあいが地域に愛		7飾り作りに 伝承遊びを	

幅広い世代との関わりの中で豊かな心を育てる目標の実践を行っている

れる存在となっている。

幅広い世代との関わりの中で子どもの心が豊かに育つことを目標にしており、パネルシアターや人形劇、コンサート、焼き芋会、サンマを焼いて食べる会等園行事全てに地域の方の参加を呼びかけ、参加している。在園児も小さな年齢の子どもたちへのやさしい接し方をしている。毎月1回の公立園との3園交流では子ども同士の仲間作りも生まれ、入学への期待にとなっている。ボランティアによるパネルシアターやコンサートで本物の音楽に触れる機会を作り、中学生の実習ではダブルタッチを教えてもらう等遊びながら色々な人と出会い目標の実践となっている。

平成30年度

《事業所名: 西糀谷しろはと保育園》

事業者が特に力を入れている取り組み①			
評価項目	6-4-3	日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している	
タイトル①	子どもが人として健やかに育つために様々な体験の機会を作っている		
内容①	園は、グループ保育を基盤とした環境構成と援助の仕方を実践し、乳児クラスは緩やかな担当制、幼児クラスはグループ保育を行い小グループでの活動をしている。体力とコミュニケーション能力向上のための運動遊び、自然への興味関心を広げるための木育活動や異文化に触れるための英語等に取り組んでいる。また、クラシックコンサート、小中学生、高齢者との交流、地域の人との自然体での交流等、豊かな体験の機会を作り子どもの心と体の成長を育んでいる。		

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	4-1-1	事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる
タイトル②	職員・保護者・地域を対象に危機管理の専門家を招いて研修を行い、災害に備えている	
内容②	職員・保護者・地域を対象に危機管理の専門家を招いて研修を行い、災害に備えている 園のみならず地域の防災を視野に入れて取り組んでいる。危機管理の専門機関や区の防災課の職員、消防署から も講師を招き、研修を行っている。研修には、職員のみならず保護者や地域の方々に声掛けしている。水害・津波 等も想定し、防災備蓄庫は1・2・3階に分散設置し、幼児は、防災グッズを各自所有して訓練等を行っている。防災 の日には備蓄品のうち消費期限の近いものを子どもたちと一緒に試食し、子どもたちの意見も聞きながら食べやす さや用意しておくとよいもの(ふりかけなど)を実体験上の気づきとして把握している。BCPも策定している。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	5-2-1	組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる
タイトル③	外部講師を招いて園内研修を実施し、職員全員が共通認識を持てる取り組みを行っている	
内容③	保育士の研修体系を明確にし、研修に精力的に取り組んでいる。年間の計画を立て、職員の希望も把握しながら園の課題に対応した内容の研修を実施している。外部講師を招いての園内研修を年に5回実施し、職員全員が受講し、共通認識を持って園運営に取り組めるようにしている。区や専門機関など園長や職員の人脈をフルに活用し、講師の掘り起こしをして研修を企画し、園の課題解決・保育サービスの向上に努めている。内容によっては他の保育園や地域にも声をかけ、園内にとどまらず広く情報を共有する取り組みも行っている。	

《事業所名:西糀谷しろはと保育園》

No	<b>杜二一白</b> 1	《事業所名:四채谷しろはと保育園》	
No.	11. 24. =:2.7.		
	タイトル	環境プロジェクトが中心になり、子どもの生活と遊びの動線を考えたコーナー作りなど、遊びを大切にした環境構成に取り組んでいる	
1	内容	子どもの生活体験に根ざし遊びを大切にした環境作りに、環境プロジェクトを中心に取り組んでいる。園の玄関を入ると杉材の廊下のコーナーに絵本や木の玩具が設定されて、保護者向けの育児本もあり親子で楽しめる場になっている。乳児は静と動の遊びのコーナーが互いの遊びの妨げにならないように動線を考え設定され、子ども達は興味を持って自分で玩具を選んで遊べるようになっている。幼児は少人数で気の合った友だちとじっくり遊ぶ空間があり、自分で選択して決定する力を養う保育を基盤として、子どもの成長に合わせたコーナーが工夫がされている。	
	タイトル	個人別研修計画を策定し、職員が子どもへの理解を深め、子ども同士が子ども社会の中で成長するために寄り添い支援する体制を整えている	
2	内容	園では子ども同士の関わりの中で認め合い、助け合い、学び合い人として育つことを大事にした取り組みをしている。保育者が子どもの発達を理解し、子ども一人ひとりの思いに寄り添い、時に距離を置いて関わっていくなど、基本的な知識や技術の向上を図るために個別の研修計画を策定し取り組んでいる。園内研修「子どもに寄り添う褒め方、叱り方」では4グループになり事例研究を行い園全体で情報を共有し対応を学ぶなど、基本的な知識や技術の向上を図っている。生活時間の大半を共に過ごす保育者が学び子どもへの理解を深め保育の質の向上に繋げている	
	タイトル	地域社会に開かれた保育園として、様々な年代の地域の方たちと交流を図る機会を作り、子ども達 にとって良い環境づくりに努めている	
3	内容	園が地域の拠点になり子どもや子育てに多くの人が関心を持って、子どもを社会全体で育んで行けるように様々な企画に取り組んでいる。月1回の「よちよちタイム」はホームページや掲示板で発信し実施している。ベビーマッサージや、バランスボールを使った育児講座の他、月1回のお年寄りとの交流、中学生の職場体験を実施している。高齢者と一緒に地域の神社の七夕飾りに出かけたり「さんまの日」は庭でサンマを焼き一緒に食べ、チェロコンサートや夏祭りに招き幅広い世代の人との関わりの積み重ねが、子どもの心を豊かに育くむ良い環境になっている。	
No.	さらなる	改善が望まれる点	
	タイトル	子どもの園生活のどの時間も、職員間で子どもの情報を共有して保育を進めて行けるように、職員 間の情報の共有を課題にしている	
1	内容	子どもの園生活の中で、早朝から延長保育まで保育者間で子どものことを引き継いで保育が継続されている。 毎日の昼礼では保育活動や子どもの様子を伝え合い、園全体で子どもの様子を把握できるようにしている。子 ども一人ひとりの遊びを中心とした関わりの中での育ちを共有し、保育の継続がされるよう非常勤職員との情報 共有も園運営の中で大切にされている。会議録を分かりやすく書くことで、参加できない場合も共有できるように しているが、更なる共通理解を図るために非常勤職員との打ち合わせの回数を重ねるなど園の取り組みに期 待したい。	
	タイトル	保護者に園の保育を伝える更なる工夫を期待する	
2	内容	入園時の保育園ガイドブックの配付やパワーポイントを使って保育内容等丁寧に説明をしている。保護者会、個人面談等を、送迎時の会話等で直接保護者と話す機会を作っている。指導計画と実際の活動との関係性を伝え、園だよりクラスだより連絡帳、活動の掲示等で月毎や日々の活動を伝えているが、利用者調査では、園の保育の具体的な取り組みを知りたいという意見もあり今後に向けては保護者に子どもの活動を実際に見ていいただく保育参加や参観を従来の希望型から、更に参加しやすい工夫を期待する。	
	タイトル	経営層は7年間の職員の成長を認識しており、今後はで中堅職員を育てることを期待する	
3	内容	区からの移管後7年、研修など効果的な育成手腕が功を奏し、経営層にも職員の成長が認識されている。職員も園長の取り組み姿勢を間近に見て、積極的に知り合いをボランティアとして紹介したり、研修の講師を探したり、子どもたちにより豊かな体験を提供できるよう、園の課題を解決できるよう、力を注いでいる。引き続き職員の主体性を尊重しながら、地域対応等、園長・主任・看護師が主として担っている業務をリーダー職員に移譲できるよう中堅職員を育てることを期待する。	
1			